

企画展 冬眠映像祭 Vol. 1
インディペンデント・アニメーション、最前線！
「かいふくのいすみ」



デザイン：最後の手段
イラスト：ひらのりょう、ぬQ、最後の手段

十和田の街が雪に包まれる冬、ゆっくり映像を楽しんでいた
たく企画「冬眠映像祭」を開催します。

ゲスト・キュレーターとしてアニメーション研究の第一人者、
土居伸彰さんを招き、アニメーションを中心にマルチジャンル
で活躍する3組の作家—ひらのりょう、ぬQ、最後の手段—
の作品上映・展示を行います。

昨年8月に、奥入瀬渓流や十和田湖など十和田市内をリサー
チし、この地にインスパイアされた作家たちが共同制作する新
作映像インスタレーション（展示空間を含めて作品とみなす手
法）にご期待ください。

会期 1月25日(土)～4月5日(日)
開館時間 午前9時～午後5時（入場は閉館の30分前まで）
休館日 月曜日（祝日の場合はその翌日）
観覧料 企画展＋常設展セット券 1,200円
企画展のみ 一般 800円
20人以上の団体は100円引き、高校生以下無料

関連イベント

上映会＆オープニング

本展覧会出展作品の上映会と、作家ひらのりょう、ぬQ、最
後の手段と土居伸彰さんが、創作活動や作品について語るオー
プニングトークを開催します。

とき 1月25日(土) 午後2時～3時30分
ところ 現代美術館 市民活動スペース
申し込み方法 電話、FAX、メール(※)のいずれかにより申
し込みください。
▶イベントへの参加には企画展のチケットが必要です。
※メールの場合、件名にイベント名、本文に氏名、電話番号、人数を明記の
上、申し込みください。当館からの返信をもって申し込み完了となります。

出展作家

ひらのりょう



ひらのりょう photo by Takuya Shima

短編アニメーション作家／漫画家。多摩美術大学情報デザイン
学科卒業。FOGHORN 所属。
MV「Hietsuki-Bushi」(with
Omodaka)で文化庁メディア芸
術祭エンタテインメント部門新
人賞。短編アニメーション「ホ
リデイ」で学生CGコンテスト・
グランプリ。デンマーク、オタワ、
サンフランシスコ、アヌシーな
ど映画祭参加多数。グランギニョ
ル未来、ロロ、山本卓々作品ほか、
演劇関連のビジュアルも多数務
める。

ぬQ



ぬQ

アニメーション作家。修了制作
のアニメーション作品「ニュー
東京音頭」が第18回学生CGコ
ンテスト最優秀賞を受賞、第16
回文化庁メディア芸術祭審査委員
会推薦作品に選出されるなど、国
内外で多数上映される。
pixiv Zingaro や TETOKA など
のギャラリーで個展を開催するほ
か、CM、MV、イラストなどク
ライアントワークも数多く手掛け
ている。

最後の手段

有坂亜由夢、お
いたまい、コハ
タレンの3人か
らなる、人々の
太古の記憶を呼
び覚ますための
ビデオチーム。
2010年に結成。
手描きのアニメーションと人間や道具小道具を使ったコマ
撮りアニメーションなどを融合させ、有機的に動かす映
像作品を創作。



最後の手段

ゲスト・キュレーター

土居伸彰



土居伸彰

アニメーション研究・評論、
各種プロデュース。
ニューディアー代表。
新千歳空港国際アニメーション
映画祭フェスティバル・
ディレクター。
ユーリー・ノルシュテイン
作品を起点にアニメーション
の理論的・歴史的研究と
執筆をする傍ら、海外アニメ
ーション作品の配給や各
種イベントの企画・運営を
行う。ファンタジー国際アニメーション映画祭の日本特
集メインキュレーターのほか、海外映画祭での仕事も多数。
キュレーターの仕事としては、「イン・ア・ゲームスケー
プビデオゲームの風景、リアリティ、物語、自我」(NTTイ
ンターコミュニケーション・センター [ICC]、谷口暁彦との
共同キュレーション)がある。

1月10日(金)

現代美術館常設展示市民無料デー
マイナンバーカード、免許証や保険証など住
所が分かるものを受付に提示してください。